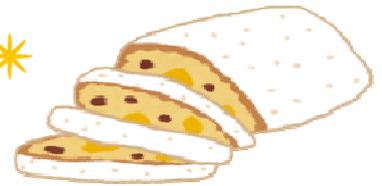


Merry Christmas!

シュトーレン



December

シュトーレンってどんな意味？名前の秘密とクリスマスに食べる理由！！

もともとドイツ生まれの菓子パンであるシュトーレン。ドライフルーツやナッツ類が入っていて表面に粉糖がかかり、まるで雪が積もっているような見た目で、日持ちするのが特長です。

♡名前の秘密…

長いパンの事を“シュトリーツェル”と呼んでいてそれが変化して、シュトーレンになったと言われています。最初は、司教へクリスマス断食用のパンとして献上されたのが始まりで、白い砂糖をかけ、産着を着たイエスをイメージしていたので、クリスマスの贈り物に最適だとされていました。いろいろな事が合わさってシュトーレンがクリスマス前に食べる長細いパンという意味になったのではないかとされています。



☆豆知識…シュトーレンはスペルが「Stollen」のドイツ語で「シュトレン」と発音するのが正解です。

♡食べる理由・食べ方…

シュトーレンを食べるのにはキリスト教の布教の意味があり、アドヴェントと呼ばれるクリスマスの4週間前の各週末。薄くスライスしたシュトーレンを少しずつ食べてクリスマスへの気持ちを盛り上げていく意味が込められています。日持ちする食べ物で保存するにつれて味が熟成・変化したおいしさを楽しむ意味もあります。

♡今年のクリスマス！！ シュトーレンを少しずつ食べてみてはどうですか？

